

## (2) 根雨小学校 (抜粋) つづき

評価項目	具体項目	目的の達成状況	自己評価
豊かな人間性の育成	人権教育・特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約90%の児童が「学校が楽しい」「困ったときに話ができる友だちがいる」「まわりの人の気持ちを考えながら生活している」と答えている。</li> <li>・約96%の児童が「先生はほめたり励ましたりしてくれる」と答えている。</li> </ul>	B
	豊かな体験活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「友だちと協力するのは楽しい」「休憩時間に友だちと一緒に遊んでいる」と答えた児童が約90%おり、友だちとのかわりを重視した活動の充実を図った成果と考えられる。</li> <li>・さまざまな体験活動の中で、普段の生活の中では見られない友だちの良さを再発見し、認め合える取り組みの充実を図ることができた。</li> </ul>	A
健康・体力の増進	体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自発的に外遊び（タイヤや一輪車、サッカーなど）をする児童が増えた。</li> <li>・約88%の児童が「業間時間の5分間走やラジオ体操、縄跳びなどに、進んで取り組んでいる」と答えている。</li> </ul>	A
家庭・地域との連携	基本的生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校のきまりや約束が守れている」児童は約78%に止まっている。</li> <li>・約84%の児童が「友だちや先生、大人の人に自分からあいさつをする」と答えているが、昨年度に比べてその率が減少している。</li> </ul>	C
	家庭学習の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の時間の達成率は伸びてきた。</li> </ul>	B
	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習や各活動に地域の方に入っていただき、協働して取り組むことができたことで、より効果的な指導を行うことができた。</li> <li>・総合的な学習の時間や委員会活動で、おしどり荘などとの交流を深めることができた。</li> </ul>	A

## (3) 日野中学校 (抜粋)

評価項目	具体項目	目的の達成状況	自己評価
学力向上 (進路保障)	授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなでつくろう!とっとりの学び」(生徒)アンケートで10項目のうち、9項目のポイントが昨年度より上がった。</li> </ul>	A
	全国学力学習状況調査・標準学力調査の分析・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査結果の分析結果から、今後の取り組みを検討し、実践できる分野について取り組みつつある。</li> </ul>	B
	基礎・基本の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業の中で一人一人のつまづきや学習状況を把握したうえで、意欲的に取り組めるような手立てや支援をしている」教員が9割いる。</li> <li>・「わかった」「できた」「力がついた」と感じている生徒の割合が81.6% (昨年度71.6%) まで向上した。</li> <li>・「1時間ごとの学習内容が理解できた」と答えた生徒が91%いる。</li> </ul>	A
	家庭学習の定着と習慣化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月行っている家庭学習実施状況調査から、定期テスト前と取り組み強化月間は、頑張ろうとする姿が見られた。</li> </ul>	B
心力向上	道徳、学級活動の時間の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事を経て、生徒同士のつながりは深まっている。</li> <li>・10月に実施したQUテストでは、学級生活満足群にいる生徒の割合が増加した。</li> </ul>	B
	凡事徹底の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「挨拶・返事・履物そろえをしている」と答えた生徒は92.3%だった。</li> </ul>	B

## (3) 日野中学校 (抜粋) つづき

評価項目	具体項目	目的の達成状況	自己評価
心力向上	思いやりの心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事や参観日については共通理解を図りながら計画・実施できている。</li> <li>・朝読書には落ち着いて取り組んでいる。月1回の読み聞かせもしっかりと聞いている。</li> <li>・「いじめのアンケート」に書かれた内容については担任が聞き取りをし、状況を把握したうえで、全身体制で指導や支援している。事実が解消された場合でも、継続して様子を見ている。その結果、同じ内容が続けて書かれることはなかった。</li> </ul>	B
	特別支援教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の必要性や仕方について、校内委員会で話し合い実践している。</li> <li>・LD（学習障害）など支援員の巡回相談、医療機関への相談なども積極的に活用している。</li> <li>・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーに対して、日々の支援について相談したり意見を求めたりしている。</li> </ul>	A
体力向上	基礎体力の向上、持久力・忍耐力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内マラソン大会、駅伝練習の改善などにより、昨年度よりも持久力が伸びてきている。</li> <li>・保健だよりの発行、保健室前掲示の充実、健康に関する標語の募集などにより、啓発に努めている。</li> </ul>	B
	基本的な生活習慣・「早寝・早起き・朝ごはん」の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「早寝・早起き」については保護者も声掛けを行っている。生徒の40%は実行できていないと考えているが、午前0時以降まで起きている生徒は少なく、朝遅刻してくる生徒もほとんどいない。</li> <li>・朝食を食べない生徒については、本人の変容を促すような取り組みを継続した。</li> </ul>	B
	部活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導の改善を図ったり指導ボランティアなどを活用したりして、活動が充実してきた。</li> </ul>	B
	食育の推進と充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食委員会の生徒が給食を残さず食べるよう呼びかけ、残菜が減った。</li> <li>・給食センターから毎日、食や食材に関するメッセージをもらい、給食時に委員会の生徒が放送している。</li> <li>・家庭科の授業で、給食センターや町管理栄養士と連携し、栄養や地産地消、郷土料理について学習する機会を持った。</li> </ul>	A
保小中連携 (日野町子ども 15年プラン) の推進	小学校との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほこすぎ教室を終日の活動にし、中学校教員と2人の小学校教員によるTT授業の数学、小学校教員によるTTでの体育、中学校教員のみで英語、社会と、4時間の授業を行った。昼休憩時には一緒に活動する姿が見られた。</li> <li>・小学校の外国語活動に中学校教員が出かけてTT授業を行った。</li> <li>・吹奏楽部やソフトテニス部で合同練習や技術指導を行った。</li> </ul>	A
	9年間を見通した授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保小中一貫教育推進委員会や小学校での研究会などで、昨年度よりさらに小学校の先生方と活発な情報交換ができた。</li> <li>・特別支援学級の新入生についての連絡会を3回、体験入学は「ほこすぎ教室」と合わせて2回行い、受入体制の整備に努めた。</li> </ul>	B
	小学生の授業参観、小学校への授業公開の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中相互授業参観で中学校教員は一人当たり平均2回以上の小学校授業参観を行った。</li> <li>・研究授業や公開授業の実施期間を設けたことで、小学校の先生方にもたくさんの授業を参観していただき、意見をいただくことができた。</li> </ul>	A
その他	家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日野町の良さを子どもに伝えている」保護者は30%程度だったが、80%弱の生徒が「よさを知っている」「好き」と答えている。</li> </ul>	

※「家庭との連携」については、年度当初に計画がなかったため、4段階での評価はしていません。